



4つの公園の活性化

Atsugi town mall plan

~The activation of four parks~



Group-G

consept

大手公園はゆっくり腰を下ろせる場所になる。cafeと公園を連続させ公園の緑を包み込むような形で、建物を配置した。緑が公園側とタウンモール側で直交している。会話を楽しみながら時間の流れを感じられる空間である。

計画敷地② Oote park
安らぐ、癒す憩いの場へ



consept

現状としては、中町公園はあまり使われてはいない。主な使われ方は目的地への近道としての通り抜けである。公園前の敷地に通抜空間を含んだコミュニティ施設を用意することによりこの特長を生かし、人の流れを活性化させるとともに公園の活性化も促す。

計画敷地① Nakacyou park
流動性から交流へ



consept

もともと様々な人が多岐にわたる使い方をしている公園である。さらに活発な使われ方をするようなきっかけになる建物にするため、情報を交換できる空間や活動のできる空間をつくり公園が発表の場になればと考えた。

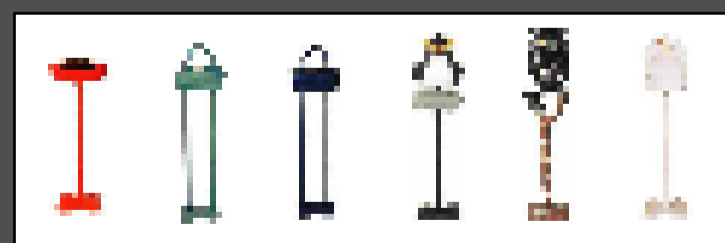
計画敷地③ Atsugi park
より良い発表の場へ



consept

Natural coexistence lifeの題名から分かるように人間と自然との関係を掲げる場になっている。イベントごとに制作した作品をタウンモール内に展示し、厚木ハートプランに基づいた市民の人たちと一緒に開発する花・植物の広がり拠点となる。

計画敷地④ Donguri park
自然との交流の場へ



ポスト

タウンモール内のポストや街灯、オブジェ、灰皿、ベンチなどを市民たちが提案していき、デザインコンペなどを行う。その結果、タウンモール内は市民たちの作品があふれ、タウンモール全体がギャラリースペースになる。

オブジェ



ゴミ箱



ベンチ



計画敷地④

どんぐり公園

0114044
0114110
0114118
0114119

小林 信一
武藤 亮
米村 圭学
渡辺 学